

令和 7 年 4 月 25 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 2 4 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 地域計画の実現に向けて話し合いましょう！
2. 農業経営発展計画制度が始まりました！
3. 経営マスターコース「アカウンティング（会計）」受講者募集中！
4. 「令和 7 年度 病虫害発生予報第 1 号」（令和 7 年 4 月 16 日（水）付け）を発表しました
5. <参加費無料>第 2 回農業者年金オンラインセミナーを開催します。
6. （みどり戦略技術紹介）温暖地でのフルチアセットメチル乳剤を活用した大豆狭畦栽培による難防除雑草帰化アサガオ類防除技術
7. 生分解性マルチ専門サイト立ち上げのお知らせ

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 地域計画の実現に向けて話し合いましょう！】

地域計画は、農業者や地域の皆さんの話合いで作る、地域農業の将来の設計図です。
令和 7 年 4 月からは、計画の実現や、策定された計画の見直しに向けて取り組んでいくこととなります。

地域計画の話合いには、現役の担い手だけでなく、将来の担い手である後継者や若者、女性、農地を所有している方や地域にお住まいの方など、色々な立場の方が集まって意見を出し合うことがとても重要です。

既に話合いに参加された方も参加したことが無い方も、積極的に話し合いに加わって、地域農業の将来について話し合いましょう。

地域ごとの取組に応じて、国でも実現に向けたサポートをしていきますので、地域計画の実現に向けて地域で一体となって取り組んでいきましょう。

市町村のホームページなどで策定された地域計画や話合いの予定を公表しているので、「地域計画」「協議の場」で検索するなど、皆さんも積極的に確認や問い合わせをお願いします。

◇ 地域計画の詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki_keikaku.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局経営政策課（担当：地域計画グループ）

TEL：03-6744-1760（直通）

【２．農業経営発展計画制度が始まりました！】

本年４月１日より農業経営発展計画制度が始まりました。農林水産省のホームページに、パンフレットや申請様式等を掲載しています。御関心や御相談等あれば、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

◆農業経営発展計画制度とは？◆

本制度は、認定農業者として一定の実績があること等の要件を満たす農地所有適格法人が、出資により、取引実績のある食品事業者等との連携を通じて、農業経営を発展させるための計画を作成し、農林水産大臣の認定を受けた場合に、議決権要件の特例を措置する制度です。この特例措置を活用することで、農地所有適格法人は農業関係者による経営の決定権を確保しつつ、最大３分の２未満まで食品事業者等から出資を受けることが可能となります。

本制度を活用し、農地所有適格法人は、生産規模の拡大や提携先の経営管理のノウハウの導入、販路確保による経営基盤の強化に取り組むことができます。また、出資側の食品事業者等については、国産原材料の安定調達や、生産現場への前向きな関与を行いやすくなります。

◇ 農業経営発展計画制度 のホームページはこちら（農林水産省 web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/241017.html>

◇ 農地所有適格法人とは？（農林水産省 web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地投資モニタリンググループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【３．経営マスターコース「アカウンティング（会計）」受講者募集中！】

一般社団法人アグリフューチャージャパンが運営する AFJ 日本農業経営大学校では、日本の農業の未来を担う経営者から若手農業者まで、すべての農業者のためのオンラインスクールを開設しています。

今回ご紹介する講座「アカウンティング（会計）」は、農業経営者・幹部層にとって不可欠な財務会計・管理会計の基礎知識のほか、それらを用いた意思決定手法について取り扱うオンライン講座です。

財務諸表は単なる過去の記録ではなく、農業ビジネスを成功に導く羅針盤です。講座の前半では、PL や BS といった財務諸表の読み方に加え、それらが示す経営の実態を把握し、より収益性の高いビジネスモデルを設計するための思考法を習得します。講座の後半は管理会計を活用した、儲けの見える化を通じ、利益を生み出す仕組みの検討や磨き上げを実施。

農業経営特有の課題に焦点を当てた本講座のカリキュラム、講師による伴走支援、そして同じ課題を抱える農業経営者との交流を通じ、儲かる経営の方程式を学びます。

■ アカウンティング（会計）（オンライン講義）

2025 年 6 月 17 日（火）～9 月 30 日（火）19:00～（全 7 回+個別フォロー付き）

○ 受講料：66,000 円（税込）

○ 定員：20 名（先着順）

○ 申込方法：2025 年 5 月 29 日（木）17:00 までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/accounting/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL：application-online@afj.or.jp

TEL：03-5781-3750

【4.「令和 7 年度 病虫害発生予報第 1 号」（令和 7 年 4 月 16 日（水）付け）を発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和 7 年度病虫害発生予報第 1 号」を発表しました。

気象庁の向こう 1 か月の予報（4 月 10 日付け）では、気温は北日本及び東日本で高い、西日本で平年並か高い、沖縄・奄美はほぼ平年並と予想されています。降水量は北日本で多い、東日本、西日本及び沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。

野菜・花きでは、トマトのコナジラミ類の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹・茶では、かんきつのかいよう病の発生が、南関東、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、かんきつのそうか病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので下記のリンクや、最寄りの都道府県病害虫防除所が発表する発生予察情報などを併せて確認してください。

◇ 「令和 7 年度 病害虫発生予報第 1 号」の発表について（令和 7 年 4 月 16 日付け農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250416.html>

◇ これまでの病害虫発生予報についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：岡田、城野、古澤）

TEL：03-3502-3382（直通）

【5. ＜参加費無料＞第 2 回農業者年金オンラインセミナーを開催します。】

（独）農業者年金基金では、「農業者年金と iDeCo の違い 徹底解説」をテーマに第 2 回農業者年金オンラインセミナー開催します（事前登録制・参加費無料）。

本セミナーでは、農業者年金の特徴や iDeCo の特徴などについて解説します。

セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。

農業者年金と iDeCo の違いを知りたい農業者の方や投資・運用などに興味がある農業者の方は、この機会にぜひご参加ください！

○ 開催日時：令和 7 年 5 月 29 日（木）15：00～16：00

○ 申込締切：令和 7 年 5 月 28 日（水）

◇ 申込フォームはこちら（Google フォーム）

→ <https://forms.gle/HxKJPCYAXBQ6gPKi6>

◇ 詳細はこちら（独立行政法人農業者年金基金 Web）

→ <https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

◇ お問い合わせ先

独立行政法人農業者年金基金（担当：企画調整室）

TEL：03-5919-0332

【6.（みどり戦略技術紹介）温暖地でのフルチアセットメチル乳剤を活用した大豆狭畦栽培による難防除雑草帰化アサガオ類防除技術】

みどり戦略技術紹介では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

温暖地の普通畦（条間 60cm）大豆作では、帰化アサガオ類の防除が困難となっています。防除対策として、複数回の中耕培土や非選択性除草剤の畝間散布を行っていますが、除草剤の散布回数が多く、管理作業が困難です。そこで、帰化アサガオ類に高い除草効果を示す選択性茎葉処理除草剤であるフルチアセットメチル乳剤の活用です。フルチアセットメチル乳剤と、防除期間を短縮できる狭畦（条間 30cm）密植栽培を組み合わせることによって、中耕培土の省略と非選択性除草剤の散布回数を削減することができます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（分割版：畑作）（PDF：3,898KB）p.24 温暖地でのフルチアセットメチル乳剤を活用した大豆狭畦栽培による難防除雑草帰化アサガオ類防除技術

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/catalog-63.pdf#page=24>

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：中野、小松崎）

TEL：03-3502-3162（直通）

【 7. 生分解性マルチ専門サイト立ち上げのお知らせ】

令和 5 年度補正事業「生分解性マルチ導入促進事業」での事業成果の一つとして、農業用生分解性資材普及会が生分解性マルチに関する専門ウェブサイトを立ち上げました。

<下記「生分解性マルチ専門サイトはこちら」をご参照ください。>

生分解性マルチは、作物収穫後に栽培残渣と一緒に土壌中にすき込むことで、土壌中の微生物の働きによって水と二酸化炭素に分解する資材です。作物収穫後のはぎ取り作業、回収作業、産業廃棄物として排出する作業が要らなくなるので、農作業の省力化や廃プラスチックの排出抑制にメリットがあります。

このサイトでは、農業者の皆様が生分解性マルチ導入を検討する際に参考となる情報を多数掲載しています。従来のポリマルチとの違いや、使用事例、コスト比較のシミュレーション、使用法の動画など、ぜひご覧になってみてください！

◇ 生分解性マルチ専門サイトはこちら（農業用生分解性資材普及会 Web）

→ <https://bd-mulch.jp>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局農業環境対策課（担当：プラスチック削減対策班）

TEL：03-3502-5956（直通）

◆◆◆編集後記◆◆◆

4 月 20 日から二十四節気のひとつ、「穀雨」の時期に入りました。二十四節気は 1 年を 24 に分けた季節の指標で、太陽の動きを基に決められており、「穀雨」は毎年 4 月 20 日頃～5 月 5 日頃にあたりますが、この時期が過ぎれば、降雨量も少しずつ増えるため、田植えの時期の目安にもなっているようです。春らしい陽気な天気も多くなり、ポカポカとした日は外出をしたくなりますよね。実は、少し前に御朱印巡りにはまり、時間を見つけては神社仏閣を訪れておりました。御朱印も様々で、変わったハンコを押しているものや、達筆すぎてなんと書いてあるのか一見わからないものもあり、個性豊かで面白いです。これから GW も始まりますし、私は、まだ訪れたことのない神社仏閣めぐりをしようかと思案中です。皆様におかれましても、気分転換もかねて何か新しいことを始めてみてはいかがでしょうか。（磯野）

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月 1 回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：大庭、磯野

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyousyouten/merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

